



南アフリカでの営業活動を支援するため ヨハネスブルグに駐在員事務所を開設

アフリカ大陸の最南端に位置し、豊かな自然と資源に恵まれた南アフリカ。

5,000万人近くの人口を抱えたアフリカ大陸随一の大国であり、

2010年のFIFA ワールドカップ開催国でもあります。

近年著しい経済成長を遂げている南アフリカは、今後もインフラ整備を中心にさらなる開発が見込まれる大きな市場です。

なかでも経済の中心地となるヨハネスブルグに、2009年6月、駐在員事務所を開設しました。

日本からの派遣1名、現地スタッフ2名で業務に当たっています。

南アフリカの今、そして現地での営業活動について、ヨハネスブルグ駐在員事務所の出来功所長に話を伺いました。



南アフリカの中でも
経済活動の中心地
であるヨハネスブルグ
の街は、近代的
に整えられ美しい

Q. 南アフリカは今、どのような発展を遂げているのでしょうか？

A. 世界トップクラスの産出量を誇る金やプラチナをはじめ、鉱物資源を経済基盤とする同国は、過去10年で2倍超の経済成長を遂げています。GDP（国内総生産）は全アフリカの2割強、サブサハラの約4割を占めています。インフラ整備も進められ、まだまだ開発余地が期待される同国は、今まさに躍進中といったところでしょう。

Q. ヨハネスブルグ駐在員事務所の活動内容を教えてください。

A. 原動機や原子力といったエネルギー・環境分野から、モーターグレーダーやフォークリフトといった中量産品分野まで、当社の事業全般について、さまざまな相談を受けながら支援を行っています。さらに、今後の海外展開および受注活動にさらなる弾みを付けていくため、独自の情報収集にも力を注いでいます。

Q. 文化の異なるなかで、苦労された点がありますか？

A. こちらに駐在してから常に自分に言い聞かせていることは「Be patient!」。訳すと「いらいらしないで!」でしょうか。とにかく日本とは異なるペースが進みますので、とまどいを感じることも多々あります。所内でも現地スタッフとお互いに声を掛け合いながら仕事を進めています。

Q. 駐在して感じた、南アフリカの魅力とは？

A. 休日にはナショナルパークに生息するライオン、ゾウ、サイなどの動物を見に行ったり、ワインの産地巡りといった楽しみも。多くの駐在者も言うように、「治安にさえ注意すれば、世界でも住みやすい国のひとつ」だと思います。将来が楽しみな南アフリカ市場。当事務所を通じて同国の発展に貢献していきます。



ヨハネスブルグ駐在員事務所のスタッフ。左から出来功所長、現地スタッフ（運転手、管理課長）の3人で業務に当たっている



街のあちこちにFIFA ワールドカップを盛り上げるサインボードが見受けられる。アフリカ全体が新たな飛躍に向かう意義深い大会でもある



開所式では、南アフリカの鉱山労働者の中で生まれた「ガムブーツダンス」も披露され、これからの活動に向けて明るいスタートが切られた